



## 2019年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月13日

上場会社名 第一カッター興業株式会社  
 コード番号 1716 URL <http://www.daiichi-cutter.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 正光  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理課長 (氏名) 木暮 恵介  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 0467-85-3939

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期第3四半期の連結業績(2018年7月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	11,331	9.7	1,544	21.8	1,619	20.4	1,075	16.5
2018年6月期第3四半期	12,550	32.5	1,973	63.2	2,034	60.8	1,287	50.9

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 1,109百万円 (18.5%) 2018年6月期第3四半期 1,361百万円 (56.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	189.03	
2018年6月期第3四半期	226.25	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期第3四半期	13,094	10,788	79.3	1,823.60
2018年6月期	12,707	9,822	74.3	1,659.36

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 10,379百万円 2018年6月期 9,444百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		0.00		25.00	25.00
2019年6月期		0.00			
2019年6月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2018年6月期期末配当の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,318	12.1	1,624	25.7	1,667	26.3	1,014	31.8	178.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年6月期3Q	6,000,000 株	2018年6月期	6,000,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2019年6月期3Q	308,332 株	2018年6月期	308,332 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年6月期3Q	5,691,668 株	2018年6月期3Q	5,691,735 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費や設備投資も堅調に伸びたことから緩やかな回復基調で推移しました。

国内建設市場におきましては、公共投資が弱含んでいるものの、堅調な企業収益を背景とした設備維持・更新・省力化のための民間投資によって、建設需要は底堅く推移しました。しかしながら、今後も引き続き、逼迫した労働市場を原因とした人件費の上昇や建設資材をはじめとする材料費の上昇による建設コストの増大には十分留意していく必要があります。

このような状況下で当社グループは、切断・穿孔工事業、ビルメンテナンス事業、リユース・リサイクル事業の全ての事業において積極的な営業活動を展開しましたが、切断・穿孔工事業の完成工事高及びリユース・リサイクル事業の商品売上高が前年同期比で減少したため、当四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は11,331百万円（前年同期比9.7%減）となりました。また、完成工事高及び商品売上高の減少に伴い、利益面に関しても、営業利益は1,544百万円（前年同期比21.8%減）、経常利益は1,619百万円（前年同期比20.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,075百万円（前年同期比16.5%減）となりました。

なお、当社グループの事業は公共事業関連工事が多いため、年間を通じて売上高は第2四半期（10月～12月）・第3四半期（1月～3月）に集中する傾向にあり、それに比して第1四半期（7月～9月）・第4四半期（4月～6月）の売上高は減少する傾向にあります。今後、このような業績の変動を平準化していく方針であります。当面、業績が第2四半期、第3四半期に偏る傾向が続くものと思われま

す。セグメント別の状況は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

#### (切断・穿孔工事業)

高速道路・橋梁改修工事や空港関連工事の営業強化に努めてまいりましたが、公共工事の受注量が減少した結果、完成工事高は9,723百万円（前年同期比9.8%減）となりました。また、個々の案件ごとの収益性は改善したものの、営業体制強化により販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント利益は1,957百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

#### (ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、首都圏を中心に高層マンション等新規案件の開拓に努めてまいりました。その結果、完成工事高は253百万円（前年同期比15.6%増）となりました。また、完成工事高の増加に伴い、セグメント利益も29百万円（前年同期比103.8%増）となりました。

#### (リユース・リサイクル事業)

リユース・リサイクル事業につきましては、引き続き中古スマートフォン等の販売に係る新規の顧客開拓に努めてまいりましたが、商品売上高は1,354百万円（前年同期比12.7%減）となりました。また、組織体制強化を目的とした人件費等の増加により、セグメント損失は12百万円（前年同期は80百万円のセグメント利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、投資有価証券が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ386百万円増加し、13,094百万円となりました。

負債につきましては、買掛金、未払法人税等が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ579百万円減少し、2,305百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ965百万円増加し、10,788百万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は79.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の通期の業績予想につきましては、2018年8月13日に発表いたしました「2018年6月期 決算短信」の業績予想から変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,322,484	5,478,628
受取手形・完成工事未収入金	2,630,776	2,530,020
売掛金	221,964	178,540
未成工事支出金	208,302	224,996
商品	38,164	109,891
材料貯蔵品	119,329	108,269
その他	109,239	97,103
貸倒引当金	△10,713	△10,071
流動資産合計	8,639,546	8,717,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,135,740	1,144,079
減価償却累計額	△343,115	△382,237
建物及び構築物(純額)	792,625	761,842
機械装置及び運搬具	2,968,891	3,169,745
減価償却累計額	△2,341,313	△2,511,038
機械装置及び運搬具(純額)	627,577	658,706
工具、器具及び備品	83,615	90,821
減価償却累計額	△61,252	△67,237
工具、器具及び備品(純額)	22,363	23,583
土地	1,657,872	1,675,004
リース資産	26,543	40,445
減価償却累計額	△14,075	△18,502
リース資産(純額)	12,467	21,943
建設仮勘定	—	149,813
有形固定資産合計	3,112,906	3,290,893
無形固定資産		
のれん	18,425	4,606
その他	109,847	95,421
無形固定資産合計	128,272	100,027
投資その他の資産		
投資有価証券	365,967	514,945
繰延税金資産	223,994	227,848
その他	239,580	244,643
貸倒引当金	△2,650	△1,618
投資その他の資産合計	826,891	985,819
固定資産合計	4,068,071	4,376,740
資産合計	12,707,617	13,094,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	558,039	563,804
買掛金	238,826	121,950
1年内返済予定の長期借入金	18,536	10,900
リース債務	4,604	6,050
未払法人税等	515,021	204,113
賞与引当金	59,829	212,604
その他	865,072	636,609
流動負債合計	2,259,929	1,756,032
固定負債		
長期借入金	11,275	3,975
リース債務	8,977	16,741
役員退職慰労引当金	246,925	189,778
退職給付に係る負債	357,850	339,036
固定負債合計	625,028	549,532
負債合計	2,884,957	2,305,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	462,044	462,044
利益剰余金	8,658,309	9,590,688
自己株式	△122,364	△122,364
株主資本合計	9,468,288	10,400,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	363
退職給付に係る調整累計額	△23,776	△21,706
その他の包括利益累計額合計	△23,776	△21,342
非支配株主持分	378,148	409,231
純資産合計	9,822,659	10,788,556
負債純資産合計	12,707,617	13,094,120

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	10,998,609	9,976,604
商品売上高	1,551,754	1,354,855
売上高合計	12,550,364	11,331,459
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	7,351,913	6,562,067
商品売上原価	1,278,822	1,033,639
売上原価合計	8,630,735	7,595,706
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	3,646,696	3,414,537
商品売上総利益	272,931	321,216
売上総利益合計	3,919,628	3,735,753
<b>販売費及び一般管理費</b>	1,946,074	2,191,577
営業利益	1,973,553	1,544,175
<b>営業外収益</b>		
受取利息	248	53
受取配当金	5	7,201
受取保険金	5,113	24,556
持分法による投資利益	32,176	34,874
雑収入	34,906	16,050
営業外収益合計	72,450	82,735
<b>営業外費用</b>		
支払利息	1,332	761
売上債権売却損	268	56
支払補償費	—	3,277
雑損失	9,943	3,098
営業外費用合計	11,545	7,194
経常利益	2,034,459	1,619,716
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	1,533	636
保険解約返戻金	10,039	18,209
特別利益合計	11,573	18,846
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	172	21
固定資産除却損	9,611	8,276
特別損失合計	9,784	8,298
税金等調整前四半期純利益	2,036,248	1,630,264
法人税等合計	676,254	522,722
四半期純利益	1,359,993	1,107,542
非支配株主に帰属する四半期純利益	72,212	31,671
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,287,781	1,075,871

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	1,359,993	1,107,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	363
退職給付に係る調整額	1,908	2,070
その他の包括利益合計	1,908	2,433
四半期包括利益	1,361,902	1,109,976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,289,689	1,078,305
非支配株主に係る四半期包括利益	72,212	31,671



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項は有りません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項は有りません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。